

2019  
12月号

# 原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4-



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## 核兵器廃絶、原発被害者に背を向ける

### 被爆者に冷たい安倍政権村度 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟で不当判決！



非核の政府・自治体・ヒバクシャ・市民の共同の力で  
2020年に核なき世界を、核兵器禁止条約の発効を！

#### 嘗てない不当判決

11月22日、大阪地裁は、原告3名のうち原爆症認定申請の却下処分を取り消しを求めた1名、提訴後、却下処分が取り消されたため、国家賠償請求のみを争った2名、あわせて3名の原告らの請求をいずれも棄却する不当判決を下しました。

判決は、理由として「その放射線被曝量などの程度かを具体的に・定量的に認めることはできない」として、これまでの判決では全く要件としていなかった放射線被曝量の具

#### 最高裁判決に反するもの

これらの考え方は、原爆症認定訴訟における長崎原爆松谷訴訟最高裁判決とこれまで集積した集団訴訟の司法判断に真向から反するものです。また、国家賠償請求を行った2名の請求を棄却した理由について、第1に原爆症認定申請について審査会の意見に従って却下処分をした場合は、特段の理由がない限り、違法の評価を受けないとしていま

#### 10年以上は長期間でないのか

しかし、原告らの中には認定申請してから10年以上経過

護団は、国及び厚労省に次のことを求めています。

#### 1. 「新しい審査の方針の誤りを認め、これを変更し、全原告を救済すること。」

2 被爆者が「裁判をする必要がないように」被爆者援護法と原爆症認定の在り方を抜本的に改め、被爆者の命のあるうちに問題を解決すること。

3. 唯一の原爆被爆国として核兵器の非人道性を国際世論に訴え、核兵器廃絶国際運動の先頭に立つこと。

不当判決後、市内で報告集会を開催し、さらに一層奮闘する決意を固めました。

過した者もいるのであり、判決の判断は、明らかに誤っているといふべきです。また、国家補償的観点から制度化された原爆症認定制度の趣旨について根本的理解に欠けたものと言わざるを得ず、到底容認できないものです。ノーモア・ヒバクシャ訴訟原告団、全



判決後の報告集会（北浜ビジネス会館）



▲被爆者・支援者・弁護団先頭に地裁へ



▲判決前集会（中之島・若松浜公園）

#### 核兵器禁止条約批准国

11月25日ラテンアメリカ・カリブ海地域のアンティグア・バーブーダが批准し、

**34か国(あと16か国で50か国に)**

#### ヒバクシャ国際署名数

57万 8319 筆 (11月20日現在)  
2020年100万筆、あと42万筆を集め国連に届けよう！

2020年NPT & 世界大会 inNY

大阪から100名の代表派遣を

# 禁止条約も「不退転の決意」

# ローマ教皇「核兵器廃絶」

## 安倍政権の“橋渡し”ってなに？

～核兵器廃絶を「究極」のあなたへ～

今年の国連総会で日本政府が提出した「核兵器のない世界に向けた共同行動の指針と未来志向の対話」は、昨年まであったNPT第6条（誠実に核軍縮を行う義務）やこれまでの再検討会議の合意についての記述を削除していき、そして核兵器廃絶を「究極の目標」として先送りしています。来年にも核兵器禁止条約が発効する今日の情勢のもとで「究極」の彼方に目標を設定するといふことは、核兵器廃絶を妨害する役割を果たしているといわざるをえません。安倍政権の「橋渡し」論は核兵器廃絶への妨害の代名詞となっています。ローマ教皇が「不退転の決意」を述べられたことと比べて被爆国国民として恥ずかしいかぎりです。被爆者へ寄り添うことのない首相は一日も早く辞めていただくべきです。



若田のローマカトリック教会のフランシスコ教皇は24日、人類史上、番目に原子爆弾が投下された長崎市の平和公園で、「核兵器廃絶」についてのメッセージを述べました。禁止条約を含めた核兵器廃絶への決意を表明し、世界の政治指導者らに向けて「核兵器は、国家の安全保障への脅威からわたしたちを守ってくれているのではない、そう心に刻み、たとえたとえと訴えました。教皇は広島市に移動し、平和記念公園でメッセージを発表しました。

ローマ教皇の長崎訪問は、故ヨハネ・パウロ二世以来38年ぶり。降りしきる雨の中、スペイン語メッセージを読み上げた教皇は、長崎を核兵器が人道的にも道義的にも悲劇的な未来をもたらすことへの罪人である町で、このメッセージを述べた。武器の製造改良維持などに財費やたけ、口で「核兵器は、いっそう破壊的になっていく。これは途方もないテロ行為です」と断りました。教皇は「核兵器から解放された平和な世界を、数え切れないほどの人が熟望している。それを表現するには、すべての人が必要」と強調し、「核兵器の脅威に反対し、一致団結して対応しなければなりません」と呼びかけました。

「カトリック教会としては、人々と国家間の平和の表現に向けて不退転の決意を固めています」として、「核兵器禁止条約を含め、核軍縮と核不拡散に関する兵器廃絶を「究極の目標」として先送りしています。来年にも核兵器禁止条約が発効する今日の情勢のもとで「究極」の彼方に目標を設定するといふことは、核兵器廃絶を妨害する役割を果たしているといわざるをえません。安倍政権の「橋渡し」論は核兵器廃絶への妨害の代名詞となっています。ローマ教皇が「不退転の決意」を述べられたことと比べて被爆国国民として恥ずかしいかぎりです。被爆者へ寄り添うことのない首相は一日も早く辞めていただくべきです。

## 2020年関西原水協学校 in 滋賀のご案内



2020年ニューヨーク行動Tシャツが完成しました。NY参加者にはプレゼント、希望者には1200円で販売します。

被曝75年の2020年、NPT再検討会議、原水爆禁止世界大会 in NYを目前に控えた関西規模の原水協学校が、滋賀県守山市で開催されます。是非、多数のご参加をお願いします。（費用など詳細はHPあるいは事務局に）

- <実施大綱>
- 日時 1月25～26日 場所 守山駅前コミュニティホール（駅直結ビル）
  - 第1日目講義 ①「2020年、被爆75年を核兵器のない世界への転換点に—共同を広げて—」（講師 土田弥生日本原水協事務局次長）
  - ②「関西各府県の運動の交流とNY代表団壮行会」
  - 第2日目講義 講義前『声が世界を動かした』DVD上映（45分）
  - ③「被爆75年を迎える被爆者の決意」（講師 木戸季市日本被団協事務局長）



▲日本平和大会総会（沖縄豊見城）

## 沖縄は不屈にたたかい続けている

### —2019年日本平和大会 in 沖縄—

11月8～9日に日本平和大会イン沖縄が開催され、大阪からは31名、原水協から続が参加しました。沖縄はまだセミが鳴く気候でしたが、私たちが沖繩を訪問する前の10月31日、世界遺産の首里城が消失して、すぐのことでした。

9日には各分科会が開かれ、「核と沖縄」の分科会に参加しました。琉球新報の「アメリカ軍は2年以内、沖繩に中距離核弾頭ミサイルを配備する—アメリカ軍はこの配備を当然視していること—」

7日から大阪代表団は沖縄入りし、戦後一貫してアメリカ占領軍の蛮行と命を懸けて闘い続けたカメジローこと瀬長亀次郎さんの「不屈館」を見学しました。沖縄県民を守る先頭に立って活動し、最もアメリカ軍が恐れた人物でした。

8日には、辺野古沖の米軍新基地工事現場に行きました。反対運動を続ける人たちに對し、日本政府は、基地埋め立て工事は着々と進んでいることとを盛んに喧伝するも、全体工事の2%にも満たないこと、ゲート前の警備員の人員費は1日2000万円近くになり、これも私たちの税金から支払われていること等、県民の民意が踏みにじられていることを「我がごととして全国に発信してほしい」と沖縄県統一連事務局長から訴えがありました。

嘉手納基地では、核兵器を管理する部隊が存在すること、東洋一の規模であることなどの説明をうけ、アメリカ軍が沖繩を占拠している実態が浮き彫りになりました。

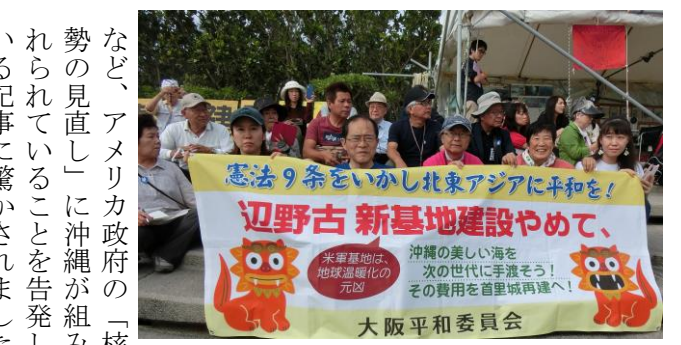
夜に開かれた開会集会では、日本平和大会で現職知事として初めて出席した玉城デニー知事から挨拶を受けました。「首里城を再建すること、米軍新基地は作らせないと力強く発言し、会場から万雷の拍手に包まれました。沖縄出身の国会議員3名が駆け付け、国会での基地反対闘争に力を合わせ取り組むことを表明しました。

【お詫び】

11月号の原水協通信大阪版において大阪原水協第57回定期総会で発言した団体・地域のお名前を正確に表現しないまま発表しました。編集委員（北野）の個人的都合で草案のままの出稿した結果です。関係者並びに各組織にお詫び申し上げます。原水協事務局として反省と改善策として機関紙係を複数体制で行うことを決定し、より良い機関紙作成を行っていきたくと考えています。

<訂正>大阪労連松本英児さん  
旭区の佐藤善次郎さん  
堺の野田雅一さん  
西淀川の矢野正之さん  
大阪平和委員会の鈴木久さん

しかし、「核兵器禁止条約」が採択され、日本も含め、核兵器に固執する勢力は少数に追い込まれていること、「ヒバクシャが訴える国際署名」を国連に積み上げ、一日も早く条約発効させようと、決意みなぎる分科会でした。大変貴重な体験させていただき感謝します。（事務局 続昌司）



▲大阪代表団 辺野古前にて